

# 盆石

— 平安時代からつづく

技と美



2022年 3月5日(土) ~ 4月8日(金)

[開館時間] 10:00 - 18:00 [休館日] 日曜日 [観覧料] 無料

(主催) 株式会社 平成建設

(共催) 正統な盆石流派の会 相阿弥流盆石 かすみ九曜会

 平成建設

平成記念美術館 ギャラリー  
Heisei Memorial Art Gallery



# 盆石

— 平安時代から  
つづく技と美

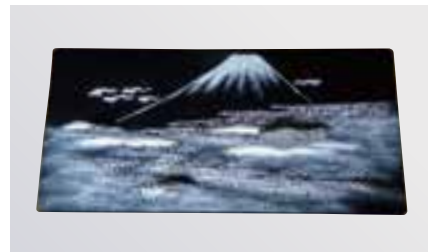
本来、盆石において家元は、流祖の技法、考えそのものを変えることなく伝えます。この様にして古来より伝わった正統な流派の家元は、令和四年の現在、清原流四十九世、細川流九代、石州流九世の三流派を数えるのみとなりました。2022年春、これら三流派の家元が初めて揃い、古くは1200年、新しくは300年と、変わらぬ盆石の姿を弟子と共に平成記念美術館 ギャラリーにて皆様にご披露いたします。

また、相阿弥流（500年）、かすみ九曜会の景も参加いたします。



清原流四十九世家元  
一遊斎 宗柳

平安の頃、清原夏野により始まりました当流は代々同門の高弟家元を継承して参りました。現代もその手法を変えずに盆石を楽しんでおります。



細川流盆石九代・林義牧派遠州流茶道  
十三世家元 竹茂館 磯野 宗和

細川幽斎を流祖、磯野家に伝えた鳥山紫山が伝祖の流儀。350景の8割は幽斎からの風景で、内200は桃山時代までの実景。白砂黒石のみで表します。



石州流盆石九世家元  
養松庵 大澤 濤子

石州流盆石は、片桐石見守貞昌（1605年～1673年 大和小泉の城主）が、四代将軍徳川家綱の茶道師範を務めたうえ、編み出した流儀で、各地に広まり現在に至ります。



相阿弥流盆石  
吉田 翠溪

芸能文化が盛行した室町時代、特に足利義政は東山文化を今に残した人で、その同朋衆であった相阿弥が、華道、茶道、香道を連結して創出したのが相阿弥流盆石です。



かすみ九曜会  
古川 理景

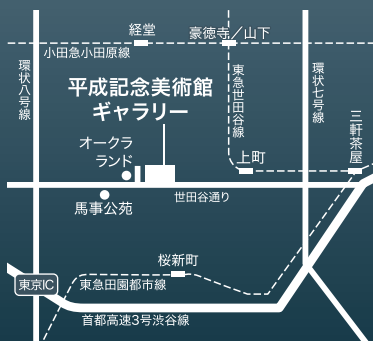
当会は、明治時代に細川流を基に創出された盆石の流れを汲みます。古川理景指導の下、40年以上外務省婦人により海外にて展示されて参りました。

盆石は黒塗盆の上に自然石と砂で風景を描きます。盆石を打つことに集中する事で精神を高め、心を清め、自身その風景の中に入り込んで自然と触れ合う楽しみがあります。充分楽しんだ後はすべてを崩して消し去り元の状態に戻します。このように盆石は平安時代から続くものあわれに通じる日本古来の伝統文化です。歴史の流れの中でおもてなしの心を大切にする盆石の流派も現れ、今にいたります。

〒156-0053  
東京都世田谷区桜3-25-4  
開館時間 10:00～18:00  
観覧無料  
休館日:日曜・年末年始

【電車】  
東急世田谷線 上町駅より徒歩10分

【バス】  
渋谷駅バス停 3番乗り場  
「成城学園前駅西口」行  
渋24 (東急バス/小田急バス)  
「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



## 平成記念美術館 ギャラリー

【お問い合わせ】 03-3426-1103

ご来館の皆様安心して展示を楽しんでいただけるよう、感染症対策に取り組んでまいります。詳しくはギャラリーサイトをご覧ください。

【次回企画展のおしらせ】 ※スケジュールは予定のため、変更になる場合があります。

2022年 4月14日(木)～5月27日(金)

松田光司 彫刻展 — 透明感を求めて —